

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		健康診査事業						予算事業名		健康診査事業費				
予 算 科 目	会計	01	款		項 目		事業		要求区分		根拠法令		健康増進法	
			04	01	04	2001	経常経費							
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 健康長寿で安心できる暮らしづくり 保健予防活動の充実						事業の区分		主要事業					
							担当課係等		健康増進課 健康増進係					
事業期間		継続 (昭和60年度～ 年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
各種がん検診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、30代を対象とした健康診査を行うことにより、がんの早期発見や早期治療を促すとともに、市民の健康増進及び保持を目的とし、医療費の抑制にも結びつける。						健康増進法第19条の2								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
<ul style="list-style-type: none"> 30代を対象とした健康診査(問診、身体測定、尿検査、血圧測定、血圧検査、腹囲測定)を実施する。(40歳以上の生活保護受給者も対象) 骨粗しょう症検診を実施する。 胸部(肺がん・結核)検診を実施する。 胃がん検診を実施する。 大腸がん検診を実施する。 前立腺がん検診を実施する。 肝炎ウイルス検査を実施する。 子宮頸がん検診を実施する。 乳がん検診を実施する。 骨粗しょう症検診をする。 						<ul style="list-style-type: none"> 30歳以上の市民 20歳以上の女性 								
						【事業をとりまく環境の変化】								
						平成25年度より30歳を対象とした健康診査は総合健診にて受診可能となった。骨粗しょう症検診については平成28年度から40歳から70歳までの5歳刻みの年齢の者を対象としている。がんは早期発見早期治療が重要であり、がん対策基本法において地方公共団体はがん検診受診率向上に資するよう普及啓発するよう定められている。平成26年度より肝炎ウイルス陽性者に対し「フォローアップ」事業を展開している。								
【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】			【令和 6年度 事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> 30代対象の健康診査実施 各種がん検診を実施 肝炎ウイルス検診を実施 			<ul style="list-style-type: none"> 30代対象の健康診査実施 各種がん検診を実施 肝炎ウイルス検診を実施 			<ul style="list-style-type: none"> 30代対象の健康診査実施 各種がん検診を実施 肝炎ウイルス検診を実施 								

■ 事業費

		R02年度	R03年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	1,375	852			
	県 支 出 金	1,332	3,477			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	56	85			
	一 般 財 源	26,453	48,584			
歳 入 計 (千 円)		29,216	52,998			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千 円)	金額 (千 円)			
	07 報償費	11	48			
	10 需用費	461	594			
	11 役務費	2,173	2,608			
	12 委託料	26,571	49,748			
歳 出 計 (千 円) (A)		29,216	52,998			
伸 び 率 (%)			81.40			
備 考	総合計画 50ページ 予算書105ページ					

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	集団健診実施日数	日	目標	32.00	33.00	33.00
	総合健診及び一般健診において30代健康審査を実施する		実績	29.00	0.00	0.00
	婦人科がん検診実施日数	日	目標	12.00	13.00	13.00
	婦人科検診にて子宮頸がん・乳がん検診を実施する。		実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	健康診査受診者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	総合健診及び一般健診において30代健康診査を受診した人数		実績	227.00	0.00	0.00
	婦人科検診受診者数	人	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	婦人科検診にて検診を受けた人数		実績	2,797.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	疾病やがんの早期発見・早期治療により市民の健康増進を推進するための重要な事業であり、市の医療費抑制を図るためにも必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	健診の開催や市民への受診券発送など、行政にしかできない事業である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	申込みにおける業務効率化及び受付時のミス等を防止するため、受付業務委託について検討する必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	開催時期や会場によっては受診者が定員に満たない場合もある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	対象者全員に接種券を送付しているほか、広報誌やホームページで受診勧奨を行っている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	がん検診受診率が県平均を越えており、受診の習慣化が認められる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	受診券個別発送により受診資格のある者への周知及び受診勧奨を行っており事業の認知度は高まっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
働き盛りである30～40代の市民に健診受診の機会を広く周知することや、若い年齢のうちに健康づくりに関心を持ってもらうことが疾病の早期発見・治療に結び付き、結果的に市の医療費抑制につながるなど利点の多い事業である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
若い世代のうちから健診を定期的を受診する習慣を身につけてもらうことは、健康維持の観点から重要なことである。引き続き、若い世代を中心に健診の意義や健康管理について関心を持ってもらうとともに、さらに受診者の増加に向けて勧奨の方法を検討していく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>30歳代から壮年期までの健康診査受診は、病気の早期発見、早期治療、生活習慣病の予防等につながるため重要であるため、若年層の受診率向上のために効果的な広報活動を実施する。また、職域健診と連携し、働き盛りの年代の健康保持・増進について事業展開する必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>